

課題シート (A児用)

E4	相互伝達系 I 3 音声言語表出E 3	指導日 29 年 7 月 6 日 名前 A					
目	①本人の楽しめる道具でやりとりをする。						
標	②子どもの気持ちになって、子どものことばを言いましょう。(代弁) *同調も行う。						
方	場面 : 学習場面, 生活場面 やり方 : : 目標①について やりとり: 一つの道具を2人(本人と教師)でやりとりする。 役割意識: 行う側、見る側(待つ側)と役割を交代して楽しむ。両方同時に行うのではなく、順番が回ってきたら行うという決まりを覚えます。 : 目標②について 本人の行動を見て言葉に表せそうな様子を教師が言葉で表現する。「風船割れたね。」「上手にできたね。」 又、本人独自の発声表現に同調して、「アーアッアッ」(本人)「アーアッアッ」(教師)と表現する。						
法							
評	◎: 意欲的にできた。○: 教師の指示のみで活動できた。△: 教師の模倣後活動できた。 ×: 反応なし						
価							
課	月日	① ②	具体例・エピソード		① ②	具体例・エピソード	
題	7/6	◎ ◎	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/6	7/19	○ ○	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/19	
の	7/7	○ ○	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/7	7/20	○ ○	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/20	
様	7/11	◎ ○	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/11				
子	7/12	○ ○	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/12				
	7/13	○ ○	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/13				
	7/14	△ △	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/14				
	7/18	○ ○	「アッアッ」に「アッアッ」のやりとり 7/18				
《なぜこの課題が大切なのでしょう。》乳幼児のコミュニケーション指導プログラムより引用 ①の目標について 会話自体を楽しむコミュニケーションを育てる。 ②の目標について 代弁されたことばは、自分の気持ちや行動に関することばなのでわかりやすく、模倣(代弁模倣)もしやすい。*同調することで本人と教師とのやりとりの存在に気づく							